■議案第66号

平成28年度湖南市一般会計歳入歳出決算の認定について

総務部

徴収アドバイザー委託業務は、問題点の相談だけでなく、その後も追跡すべき。同和対策啓発活動事業は見直すべき。基幹系システム運用管理事業は安定的な運用管理をすべきとの意見があった。

総合政策部

職員の健康診断受診率の100％達成、職員のストレスチェックの実施で健康管理の充実を求める。

建設経済部

市営住宅のバリアフリー事業の今後の方向性について、民間活用などで投資の抑制を求める。三雲駅周辺整備事業では、整備されたことに対し評価する。一方、石部駅周辺整備事業では成果物が見えてこないと指摘があった。就労対策事業では障がい者の相談から雇用へチャンスワークこなんとの連携強化を。内陸型国際総合物流ターミナルおよび新産業団地整備事業では県、近隣市との連携の到達を踏まえ見直すべきではとの意見があった。

健康福祉部

成人健診および各種がん検診事業の受診率が伸び、早期発見、早期治療につながっているが、さらに各種健診の充実を求める。発達支援事業など障がい者福祉のまち、湖南市のさらなる充実を求める。石部小学校の学童保育所における医師住宅の改修問題について経過報告があるべきとの意見があった。

教育部

小・中学校の耐震化対策の完了に対し評価する。良好な教育環境の維持から甲西中学校テニスコートの借地については継続すべきとした意見。スクールソーシャルワーカー配置事業、ことばの教室事業、学校支援地域本部事業についてさらに充実強化を図ることを求める。菩提寺北小学校の下水道使用料が多い問題について、漏水が原因であるのなら、迅速な対応をすべきとの意見があった。

改築された甲西中学校

態度表明

適正な予算執行に努められているが、監査委員からの指摘の通り、経常収支比率は平成27年度より2・3％低い92・4％。依然、高い数値となっており、財政状況の硬直化を示している。市税収入は平成27年度より4，393万円の増となっているが、地方債は平成27年度に続き平成28年度も発行額が償還額を上回るという厳しい状況。また、不能欠損額は8，800万円。現在進められている農業振興等拠点施設整備事業や三雲駅周辺整備事業など大型事業が続く中、東庁舎周辺整備事業の計画もあるが少子高齢化に伴い、福祉関連の予算も膨らむ中、業務の見直しや東庁舎周辺整備事業を進めることにより、施設の統廃合や施設管理の見直しによる、経常経費の削減、縮減を含め、効率的な執行ができるよう努めて頂きたい。として賛成。

新税導入の議論もあるが、まず、現在実施の事業見直しに期待したい。として賛成。

全員賛成で認定

■議案第67号

平成28年度湖南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

75歳以上、40歳未満の方の人間ドック・脳ドックの受診はどうなっているのか。特定健診について受診を勧奨したことから健康推進につながり大変よかった。以前あった健康貯金教室について、生活習慣病の予防にも必要で、国保加入者だけでなく市民全体を対象としたものにすべきとの意見には、参加者が少なく続けていけなくなり、個別に保健指導を実施しており、健診を受けた19歳から39歳までの方も対象としていると回答。

賛成多数で認定

■議案第68号

平成28年度湖南市国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算の認定について

石部医療センターの一足制については、不都合な方はそのまま入ってくださいと表示している。高度医療機器の設置の計画は、4施設ともデジタル機器への更新が必要との回答。

全員賛成で認定

■議案第69号

平成28年度湖南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

督促手数料が1件当たり100円、費用対効果は、という意見には、条例で決められているとの回答。

賛成多数で認定

■議案第70号

平成28年度湖南市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

認知症カフェの利用